

届かなくなるなら合併しない方がいいですよ。大きくすること、一つの事業がまとめてできることで分権型合併に賛成したのです。何かを削れるから儲かるという考えではありません。

【地域審議会】

Q 地域審議会（仮称）には、議決権、予算の権限がなく、予算の執行だけだと聞きました。権限を持たせることができるのですか。

A 分権型合併については、国（総務省）においてもきちんと決まったものではなく、実現させる方向で話をしています。地域審議会の法的な地位については、法定の合併協議会で決められると承知しています。予算についてですが、もちろん中央から配分されますが、合併の際、旧6市町村に何を根拠に割っていくのかは、今までの予算が基本になると思います。

【合併協議の結果】

Q 財産をすべて持ち込むということだが、現在市が実施している「新しい借金」も含め、市の借金の方が多くないか。借金を新市に持ち込むので「今のうちに借金」という感じで、合併時までに借金が増えないか。

A どの市町村にも借金はありま

すが、それぞれ返済計画をもつてのことです。土地開発公社分などを含めると、ほとんど変わらないので、お互い様と考えています。

基金をむやみに崩さないことと、計画にない新しい借金をつくらないことが基本方針です。で、実施している事業は、計画の実行であるはず。いずれにしても、現在はそれぞれ独立した市町村です。富士見町にも借金があり、交付税が減れば苦しくなります。合併後は、スケールメリットが期待できます。

Q 衛生施設組合や介護保険の合併後の業務範囲はどうなるのですか。

A 現在実施している範囲が自然ですが、法定の合併協議会で協議していきます。一部の市町村が合併しなかった場合は、今後検討が必要になります。

（要望） 合併協議では、小さな自治体でも言うべきことはしっかりと行ってもらいたい。

【広域連合】

Q 広域連合の機能を強化、発展させたいのではないですか。

A 連合では、さまざまなことをやってきましたし、今後もある程度のことではあると思います。しかし、ご承知願いたいのは、あくまで連合であり、決定の期

間に非常に時間がかかります。組織として統一されているわけではなく、政策を進めるうえで非常に難儀です。今、連合でやっているのは特殊な事務に限られています。特定の分野の事務を共同処理することには向いていますが、住民サービスに手を出していくのに、相当の時間や労力がかかり、迅速にできない欠点があります。

【周辺部はどうなる】

Q 富士見町の合併の時も、同じようなことがいわれ境支所が置かれたが、現在の状況になってしまった。10年くらいして、中央の力が強くなるにしろ、端の方は町の合併のようになってしまうのではないかと懸念されます。

A 境は合併で寂れたとは思えないといいましたら、町長の認識は甘いといわれました。私は、境の地区が合併によって不利になったと思うことはできません。50年の間に世の中は相当動いています。私の出身の落合地区も非常に変わりました。私がいた頃の落合小学校では、1学年120名でした。今年の入学式では12人でした。50年の間に人口の偏りがでてきたことは受け止めなくてはなりません。境の人がさらに端になるとお考えになるの

は無理のない話だと思いますので、行政側は保障していく必要があります。

今後、私が気をつけなければならぬのは、こうしたことを助長していくような政策はしていくべきではないし、今年度の予算では、境地区に重点的な投資をしますが、予算もこの地区だからということではなく、必要があつて集中的に使っていく方法を取っていくことです。

（意見） 合併により、辺りなところにしわ寄せがくるのが常と考える。合併よりも、このような形で身近に町長と対話できる環境が大切だと思います。

（意見） 合併推進ですが、主な合併の理由は財政問題だと思います。

多少の不便は覚悟しなきゃいけない、負担が増えても合併したくないと考えるならそれでもいいが、ただ端っこだから阻害されるということではなく、時代の流れである以上もつと前向きに考えるべきだと思います。

【合併を選択しない場合】

Q 富士見町よりも悪い条件の中がなばつている村があるのに、富士見町はなぜ合併なのか。

A それぞれの首長さんがお考えをお持ちであることは承知しています。自治体の規模として、

富士見町は難しい規模であることをお分かりいただきたい。先日、中学生まで参加しての住民投票を実施された平谷村の村長さんにお会いしました。村の人口が600人くらいですが、約7割の方が合併に賛成する結果が出ました。どこと合併するか枠組みが固まっていなかったたので、村長さんに「どうするんですか」とお聞きしたら、「考えさせてくださいませんか」というお話でした。「それぞれの規模の町村で、それぞれの苦しみを持つっているなあ」と感じています。

富士見町の1万5千5百人というのは、国からのお金を絞られた時には大変になるし、町民のみなさんに痛みを背負ってくださいと申し上げていくのに浸透しにくい規模であると考えたうえでの私の結論です。私としては、町民のみなさんにお話しし、ぜひご理解いただきたいと考えています。

Q 長野県からの補助金があると聞きました。合併しなくてもやっていたのではないですか。

A 今、富士見町の交付税収入額は約20億円ですが、この補助金は県全体で2億円です。交付税とは比較になりません。しかも、人口1万人以下の小規模町村が対象です。

3年、5年後合併を考えれば

（次ページに続く）